











新墓(通称ミーバカ)の由来



中熊大治(フージツシユ)翁が、谷(タニ)の丘に墓地の源をなして以来約百三十余年を経て、中熊家第四代の祖・直屋は九人の子室に恵まれた(長女は松家、二女は亀津の龍家へ嫁ぐ。現在の龍野家)。又直屋は自らも惣横目役を賜り、社会に尽くし、中熊八軒は隆盛を極める。今から約百八十年前(西暦千八百年代初期)、八軒の創始を機に子孫永代の繁栄を願って、直屋を中心とした七男一女の墓地を現在地に移転し、神聖の地と定め、ミーバカと称して今日に至る。
慈に報恩の意を以て納骨堂を建立奉納し銘碑を刻む。

平成八年(一九九六年)秋

墓地整備委員会

委員長

他

中熊義典
親族一同























史跡カムイヤキ古窯跡について

カムイヤキ古窯跡は本県の中世を代表する窯跡である。カムイヤキは長い間、類須恵器と呼ばれ生産地不明の焼き物であったが、昭和58年にこの地で窯跡が発見され、伊仙町が一大生産地であることが判明した。

カムイヤキ古窯跡群は、11～14世紀の南西諸島全域に流通した焼き物の生産地で、平成15年現在12支群が発見され、窯の総数は100基を超えるものと推測されている。

この遺跡は南西諸島における当時の社会経済や海運流通活動を解明するうえで重要な遺跡として評価されている。またカムイヤキは琉球王国成立以前の九州・朝鮮半島・中国大陸との物流や技術的な関りも指摘され、カムイヤキ文化の解明は南西諸島にとどまらず東シナ海を取り巻く地域の文化・歴史の解明にも大きく貢献するものと考えられている。

なお、出土遺物は伊仙町立歴史民俗資料館に保管展示されている。

鹿児島県教育委員会・伊仙町教育委員会（平成3年3月22日 県指定）





























































史蹟

ムラチンキョ

村井戸 ここに在所

そしてその由来

西暦十九世紀頃定は浜(その頃は奥濱の山側は東、海側は浜と呼ばれていた)には、此処に居る奥濱で産まれた高さ一米二〇、深さ二〇米位の唯一の井戸で、浜の人々はこの井戸水の恩恵を受けて生活した様です。

二〇世紀の初め頃から、ポンクリアーの産の井戸や、ポンプ式の掘井戸に代わり、今では給排水道となり、各家庭をうるおしていますが、その起源は、浜では唯一の井戸水であったように、この井戸の裏のカシュマルの太木の葉もその恩恵を受けて、

そのお返しとして今ここにその恩恵を誇っています。

私の幼少の頃は、枯井戸と見えたとその姿がありました

又、この井戸にまつわる神話も数多くあり

祖先が此の地(山)で遊蕩り名を遊けた神童の子孫が、

賑々輝みにこられる姿を色々見守りがあります。

復元しようと思いきり、季節けた約一米位の下まで

は昔ながらの掘り方で掘りぬいた高さ一米二〇位の井戸

あり中は埋れていました。

大事に保存したいものです。

一九九七年 五月 吉日 坂山 三郎









榕 樹

樹齡約百四十年幹のまわり二十米余り枝の長さ十四米もあり嘉永の頃に防風林として植えたものと伝えられている。
方名「ガジュマル」はクワ科に属し隆起珊瑚礁の石灰質の地に育つ常緑樹で心風に強く成長が早く神木でもあった。

町指定文化財 平成3年3月
徳之島町教育委員会



































奄美群島国定公園(むしろせ)

ムシロ瀬

徳之島の北西に位置し、その名のとおり海岸にあたかもムシロをしきつめたように巨岩が連なっておりサンゴ礁の岩の多い奄美群島では珍しく花崗岩が広がり壮大な景観である。付近には大島絵の染料に使う車輪梅(しゃりんばい)が多い。

大反対
松天公

























基地移設
絶対反対

← 松原 入口
闘牛場



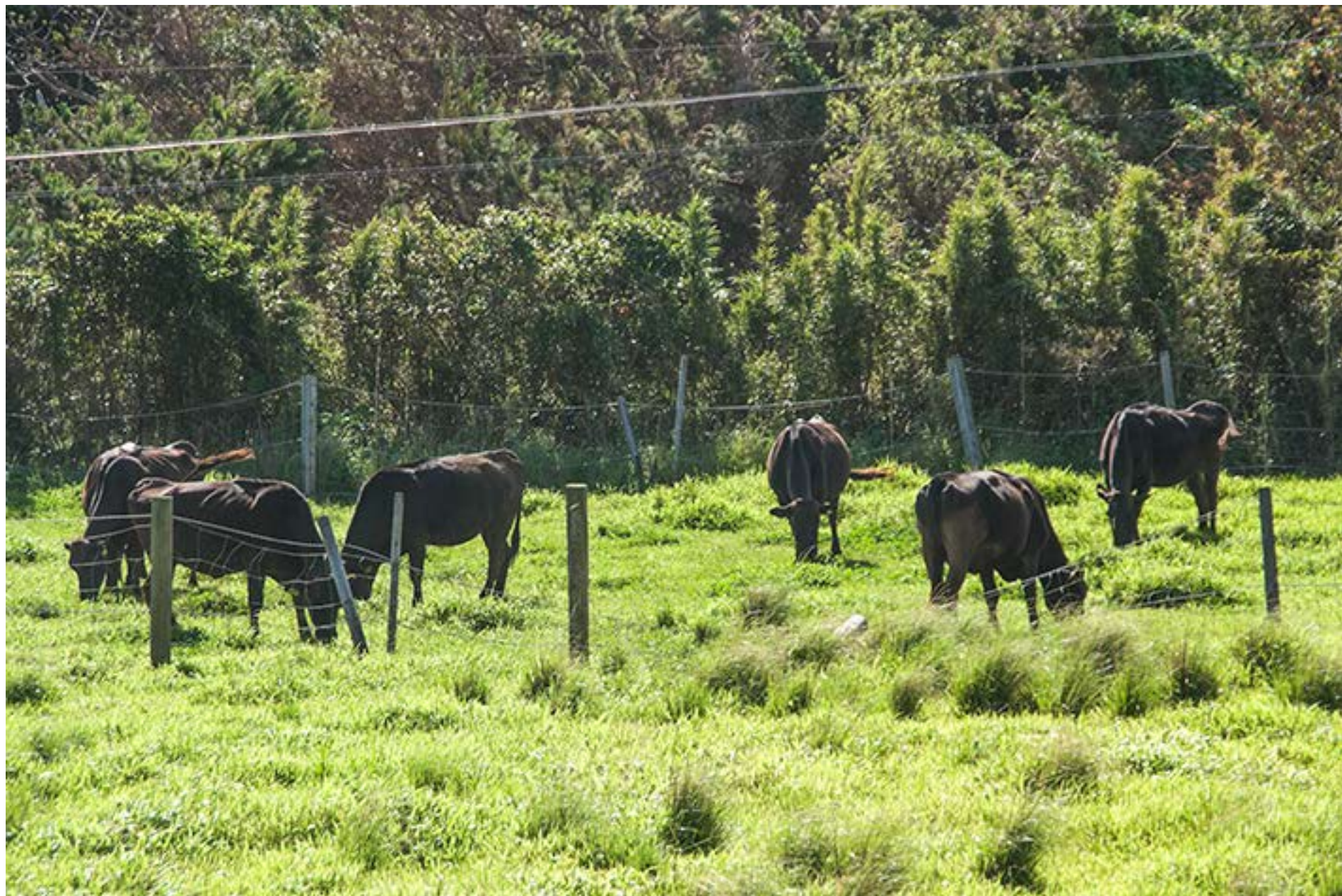
















奄美群島国立公園 (いものじょうみだ)

犬の門蓋

登山道に設置した蓋は第一歩である。季節風や気温によって蓋の下のゴミが乾燥するのを防ぐ。ゴミを燃やといわれる悪習がなくなり、大連帯に水牛がゴキブリの害は恐れる人々を驚かす。この地の由来は昔大連帯の赤い犬が群れをなし人々に危害を加えたので、これを捕まえる中に殺されたこととラフといふと伝えられている。

～ みんなで守ろう漁場 ～

密漁禁止 昼夜監視実施

イセエビ 表見漁の禁漁期 5/1～8/20迄
ウニの禁漁期 11/1～翌6/30迄
アサギエビの禁漁期 5/1～7/31迄

- 表見漁(アサギエビ、ウニ)等の状況も実施していますので、徹底、実施をお願いします。
- 表見漁、表見漁以外のアサギエビ、表見漁、ウニ、イセエビ、アサギエビ等の密漁は禁止されています。

お問い合わせ先 奄美群島観光協会 奄美群島観光協会

















































伊藤観光ドーム闘牛場

徳之島三町闘牛愛好会 (社) 奄美大島青年会場所

第37回鹿児島ブロック大会 in 徳之島開催記念観光闘牛大会

日時：平成23年6月11日(土)
 場所：伊藤観光ドーム
 時間：午後6時対戦開始

主催：徳之島三町闘牛愛好会 後援：(社)奄美大島青年会場所

大人2,000円

6月11日

地区：伊仙、松原、喜念、龜津、伊仙、母間、大田希

戦闘：康貴、大横綱、稲妻、大関、明笑、莉夢、神特、前村、鬼若、ワイル

大虎助

徳之島三町闘牛愛好会 (社) 奄美大島青年会場所

大人：2000円
小人：1000円





































































































